

イシガレイの成長

■成長したイシガレイ

今回の調査は水位が低い状態で、導流堤の水門付近・河口・潟湖内でイシガレイを採集することができた（Fig.1,2）。潟湖内で採集した個体は1匹のみであるが、全長10.5cmと大型の個体であった。これまでの調査でも潟湖内の個体は大型である傾向がみられた。

採集個体全体の平均全長は6.1cm（潟湖内の大型個体を除くと5.8cm）で、これまでのデータの範囲内である。昨年は導流堤の水門付近七北田川側に泥が堆積し、砂地を好むイシガレイが見られなかったが（レポートNo.445参照）、今年はそのようなことはない。水門付近は砂地が維持されており、イシガレイは順調に成長していると思われる。



Fig.1 河口で採集したイシガレイ

全長 (cm)	4.5	5.0	5.5	6.0	6.5	7.0	7.5	8.0	8.5	9.0	9.5	10.0	10.5	平均 (cm)
河口 (匹)	2	1	4	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	5.6
水門付 近(匹)	2	1	1	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0	6.0
潟湖内 (匹)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10.5

Table.1 イシガレイの全長と採集数 採集個体全ての平均全長は6.1cm

■ホシガレイの採集

今回の調査で、初めてホシガレイを採集した（Fig. 3, 4）。場所は導流堤の水門付近である。生命の星・地球博物館の和田英敏氏に本種を同定していただいた。お忙しい中ご対応いただいた和田氏に、厚く感謝の意を表します。

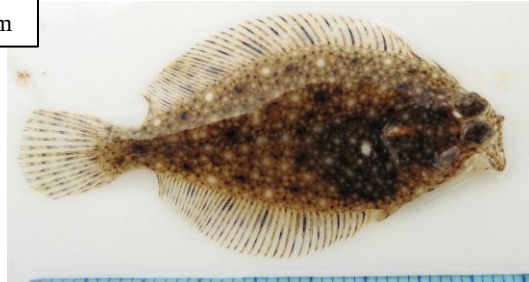


Fig.2 水門付近で採集したイシガレイ
※口が開いたままで閉じることができない個体

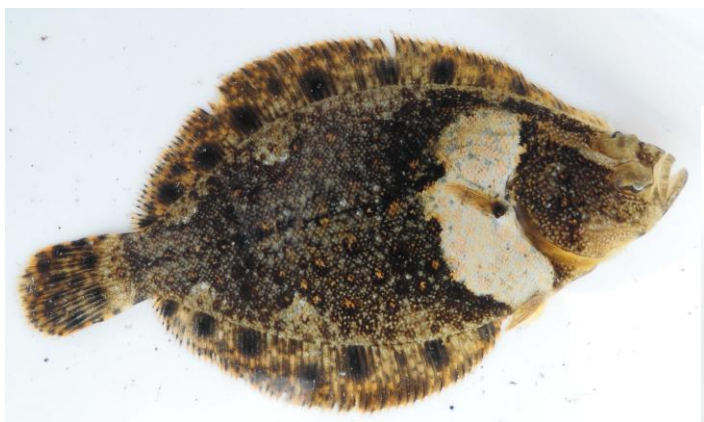


Fig.3 ホシガレイ 有眼側



Fig.4 ホシガレイ 無眼側